

平成21年 年頭挨拶

飛翔 CONYX2009

～感動を信頼に ありがとうを力に
期待を超えるコニックス～



代表取締役社長 吉田治伸

年頭に当たり、皆様方の益々のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

昨年は、3名もの名古屋大学出身者がノーベル賞受賞をされました。おめでとうございます。誇らしい気持ちともに同じ卒業生として頑張らねばと意を新たにいたしました。当社は昨年創立53年を迎えました。そして、また新たな年を迎えることとなりました。本年度も大変順調に推移しております。年未来の大不況は先行きの不安感は大いにありますが、こうして新しい年を迎える事ができるのも現場の皆様を中心とした努力の結果と心よりお礼申し上げます。

前述しましたように、昨今の100年に一度と言われる大不況は、日々よくない情報が増え、あらためて、国内の企業は、海外で利潤を上げていたのだと実感いたします。リストラも非正規社員ばかりでなく、正規社員にまで及び、節約ではなく、ゼロという極端な施策の企業も目立ってまいりました。

さて、そんな景気の変わり目、不景気を乗り切るために皆様をお願いしたいことがあります。

それは、クレドに書いてある事の実践であり、隠れクレドの「笑顔、挨拶、報連相、身だしなみ」の実践であります。人間相手の形のないサービスを売り物にする当社にとって、それは、一番簡単だけど難しい事です。ただでさえ、3K でストレスが多いと思われる当社の社員が、「笑顔」や「元気」や「親切」で接するだけで、お客様やユーザーの方々は、喜んでいただけたり、感動すらしていただけたりするのであります。我々の仕事はどんな不景気になってもなくなる、社会貢献度も環境貢献度も高い仕事であります。是非、皆様、自信を持ってそんな唯一無二のサービスを行っていただきたいと思います。クレドの実践と「笑顔、挨拶、報連相、身だしなみ」の実践は不況を乗り切る前提条件です。今年のスローガンを、「感動を信頼に ありがとうを力に 期待を超えるコニックス」と決めたのも、よりクレドに近いものをという事が理由であります。是非、皆様方の絶大なご協力をお願いいたします。

さて、最後にこの不況を乗り切るとえ話をひとつ。

ある若者が地方から都会にでてきて言いました。「都会は恐ろしい所だ。水を飲むのにもお金がいる。」と嘆きました。

別の若者は「都会はすばらしい所だ。水を売っても商売になる。」と言ったそうです。後者と前者、どちらの人間がこの不況を乗り切れる人間か、皆さんおわかりになりますよね。

また新たな第一歩を進む今日、お客様、社員、会社が飛躍し、共に幸福になる事を祈願し、またそうなるために最大限の努力を行う事をお誓いして年頭の挨拶といたします。